

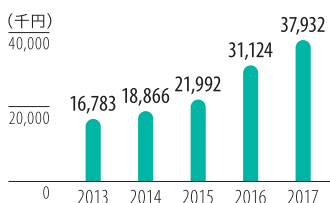
グループ会社紹介

プリマルーケ
株式会社

愛情を込めて おいしい加工食品を つくっています

プリマルーケ(株)は、長崎県や雲仙市などの出資を得て、1995年にプリマハム(株)の特例子会社として設立された重度障がい者多数雇用事業所です。プリマハムグループの九州における生産拠点として、独自の商品開発力を強みにおいしさにこだわった加工食品をつくっています。また、障がい者雇用を促進する一方で、一般企業と同様に「利益をあげる経営」の方針としています。従業員一人ひとりが日々の業務改善を実践することで、近年では高い生産性を実現し、業績を伸ばし続けています。

● 業績の推移

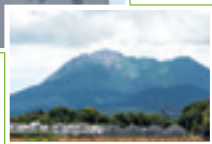


純利益
5年連続
UP!

プリマハムの
「生産本部長賞」
も受賞

● 企業データ

社名 プリマルーケ株式会社
本社所在地 長崎県雲仙市国見町土黒己120
創業 1995年
従業員数 54名(うち知的障がい者16名、身体障がい者2名)
※ 2018年4月1日現在



工場からは
雲仙普賢岳が
間近に見えます

商品紹介



サンドイッチに
してもGOOD



プリマルーケを代表する
ロングセラー商品。こんがりとした
焼き色とジューシーな食感は、
直火焼きだからこそ

ふっくらジューシー



安全・安心はもちろん、コストとにらみあいながら(笑)、お客さまに“おいしい!”と書いていただける味にとことんこだわっています!

生産の効率化を進めるだけでは、おいしさはつくれません。人の手と目で要所・要所でのひと手間を惜しまず、丁寧にこだわっています。

商品開発課
本田 円香



製造課
竹田 貴博



↑ 酢豚用の豚肉に衣をつける工程ではムラや変形がないか厳しくチェック



↓ ハンバーグの焼き色がきれいになっているかなど検品しながら丁寧に包装



レンジでチンして野菜と炒め、別添のタレと絡めればできあがり



油で揚げ直せば、カリカリ感がアップ!



食欲が進む豊かな香り



おつまみにぴったり



クセになるおいしさ



子どもたちに大人気

お客さまからのコメント

10年ほど前からプリマルーケの商品を扱っています。特に手羽唐揚げやハムカツなどは、お肉のジューシー感や調理の手軽さから、リピート購入が多い人気アイテムです。組合員様からは「幼稚園のお弁当に入れると、3歳の娘がとても喜びます」などの声も届いています。今後もたくさんの方に愛される商品づくりを期待しています!

生活協同組合ユーコープ 宅配商品部 澤 正俊 様(左) / 加藤 桃 様(右)



「地域から愛される会社」であり続けるために 障がい者も健常者も一緒になって成長しています

障がいの有無にかかわらず従業員一人ひとりの能力をいかし伸ばしていくことが会社の成長には不可欠だと考えます。そのため当社では個々人が複数のスキルを身に付ける「多能化」を進めています。真面目で一生懸命な従業員ばかりなので、伸びしろは無限です。また、「地域あつての会社」という思いから、地元人材の採用や地域活動にも力を入れています。さらに食でも地域に貢献しながら、今後も地域にとって「なくてはならない会社」を目指していきます。



プリマルーケ(株)
代表取締役社長
片岡 浩

地域との コミュニケーション



↑ 地域イベント

国見町のイベント「くにみの日」には毎年参加し、商品を販売して地域の皆さまと交流。いつも行列ができるほどの人気です



↓ 清掃活動

地域の海や川の清掃活動には積極的に参加。従業員同士が親睦を深める機会にもなっています



地域の特別支援
学校などから
職場体験や職場見学も
受け入れています。

総務課
村中 祐里



← 従業員を講師派遣

県や福祉団体などから依頼を受け、従業員が障がい者雇用管理に関する研修の講師を務めることもしばしば

これからもチームワークを大切に!



働きやすい
環境づくり

丁寧な教育

一つひとつの仕事を実際にマスターできるように健常者が時間をかけて教育



何より重要なのは健常者が障がい者を理解すること。仲間同士、みんな一緒にがんばっています!

総務課
吉田 里枝



有資格者のサポート

障害者職業生活相談員の資格を持つ従業員が地域の福祉施設と連携しながら公私両面でサポート



掲示物

各種掲示物は写真やイラストを使い障がい者でも目で見てわかるように工夫

バリアフリー

施設全体でバリアフリーを実現。操作パネルを低位置に設けるなど、細かい部分まで配慮

